

会 報 <<第402号>>

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



発行日 平成31年 4月 1日

<<目 次>>

- | | | |
|-----------|---|--------|
| I ご挨拶 | 『ポスト平成に幸多かれ』
副会長 小南 正雄（前 兵庫県住宅供給公社 理事長） | …2頁 |
| II 会員寄稿 | 『「ル・コルビュジエ」を観て』
（株）神鋼不動産 常任顧問 川端 宏幸氏 | …3頁 |
| III 寄稿 | 神戸秘話第20回
『ラジオ放送復活の立役者 柴田邦江さん』
（一社）兵庫県建築会 会長 瀬戸本 淳 | …4頁 |
| IV 見学レポート | 『ぶらりまち歩き「西国街道と兵庫津」』 | …5頁 |
| | 『ぶらりまち歩き(1)三宮神社』
（株）岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏 | …5~6頁 |
| V 花だより | その1 チューリップ、ペゴニア、ラン：加西フラワーセンター | …2頁 |
| | その2 ザゼンソウほか：六甲高山植物園 | …7頁 |
| VI お知らせ | 1 会員の異動
2 行事案内、事務局だより
広報コーナー（総合資格学院、住宅再建共済制度） | …8~11頁 |

今月の花だより①チューリップ：県立フラワーセンター



② ザゼンソウ：六甲高山植物園



I ご挨拶
「ポスト平成に幸多かれ」
副会長 小南 正雄
(前 兵庫県住宅供給公社 理事長)



平成 31 年度事業の始まりにあたりご挨拶を申し上げます。

春爛漫の 4 月を迎えた今、平成という時代の幕がまもなく下りようとしています。この会報が皆様に届く頃には、次の新しい元号が発表されることでしょうか。そして、この会報が平成の日付で発行されるのも、これが最後となります。

平成という時代は、まぶしいバブルの中で始まり、今、戦後最長の景気回復期といわれている中で終わろうとしています。しかしながら、その間には、「失われた 10 年」、「就職氷河期」といわれた時期があり、そして、阪神・淡路大震災、東日本大震災というまれにみる大災害にも見舞われました。平成を振り返ると少し複雑な思いがいたします。

「ALWAYS 三丁目の夕日」という昭和の高度成長期を題材にした映画がヒットし、その続編も次々と作られているのは、この平成への複雑な思いの裏返しとしての昭和の高度成長期への郷愁が、普遍性を持っているせいかも知れません。

平成の後にやってくる時代は、過ぎた時代を懐かしく振り返ったりせずすむような、幸多き時代となることを祈りたいところです。

さて、私事で恐縮ですが、私は、この 3 月末をもちまして、兵庫県住宅供給公社の理事長を退任いたしました。平成 29 年から 2 年間、この建築会の副会長を務めさせていただきましたが、次回定時総会での議案承認をもって退任させていただくこととなります。微力故に至らぬ点多々あったと思いますが、なにとぞご容赦いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、兵庫県建築会と会員の皆

様の益々のご発展とご多幸を心中よりお祈りし、新年度を迎えてのご挨拶とさせていただきます。

V 花だより (その 1)
兵庫県立フラワーセンター (加西市豊倉町)
チューリップ、ベゴニア、ラン



花と緑を普及する拠点施設、兵庫県立フラワーセンターは昭和 49 年 9 月に開園。中国縦貫自動車道の整備に伴いその周辺を「花と緑の回廊」として整備したものの一つ。懐かしいフレーズです。

チューリップ祭り (3.16~4.30) が開催されているとのことで、少し早いかと思いつつ、彼岸といいながら寒の戻りが厳しい中、久しぶりにフラワーセンターを覗いてきました。案の定、駐車場から入場して直ぐの風車前花壇では、本来ならカラフルにチューリップが出迎えてくれるはずが、まだ緑の葉っぱ一色。かろうじて表紙写真の噴水前の四季の花壇で、らしき風景が撮影できました。この会報が発行される頃からがボチボチとシーズンインとなっていることと思います。

ただ、フラワーセンターで有名な球根ベゴニアやランは温室で常時に咲き誇っていますので、無駄足を少しはカバーしてくれました。

<ベゴニア室>



<ラン室>は 9 頁に掲載しました。

Ⅱ 会員寄稿

「ル・コルビュジエ」を観て

(株) 神鋼不動産常任顧問 川端 宏幸氏

先日、2月19日から国立西洋美術館で開催中の「ル・コルビュジエ」を観てきました。

ル・コルビュジエといえば、我われ建築を学んだ者にとって神様のような存在で、学生の頃からその斬新な思想にも共感を覚えました。もともとは画家として制作に組み込みながら、新しい建築の創造を目指して近代建築の旗手となった変遷が見て取れるまたとない機会となりました。



「ル・コルビュジエ」を開催中の国立西洋美術館

本名シャルル＝エドゥアール・ジャンヌレ＝グーリは、1887年、スイスの時計職人の次男として生まれました。当地の装飾美術学校を出た後、オーギュスト・ペレやペーター・ベーレンスに短期間師事した他は独力で建築を学んだ。

1917年頃から本名で絵画作品を発表し、現実の題材から機械的で秩序ある表現を追求するピュリスムの画家のアメデ・オザンファンとともに雑誌『エスプリ・ヌーボー（新精神）』を1920年に創刊した。その頃からル・コルビュジエというペンネームを用いた。その時代の建築としては、パリのラ・ロッシュ＝ジャンヌレ邸があり（この建物の中には、アメデ・オザンファンやコルビュジエの絵画が多数展示されていた）、この建築物は後にコルビュジエ財団の本拠地となる。

1923年には、エスプリ・ヌーボーに掲載した著作『建築をめざして』の中で「住宅は住むための機械である」という思想を発表した。1925年のパリ国際装飾芸術博覧会では装飾のない『エスプリ・ヌーボー館』を設計し、規格化と大量生産、それに前述の住むための機械の具体化を図った。

1927年には、シュタットガルト郊外のヴァイセンホフ・シードルンクの住宅博に参加した。この住宅群の全体計画は、ミース・ファン・デル・ローエが行い、17人の建築家が33棟を設計した。コルビュジエは2家族住宅とシトロアン住宅のプロ

トタイプを発表し、その中で『近代建築の5原則』、①ピロティ、②屋上庭園、③自由な間取り（平面）、④横長の窓（水平に連続する窓）、⑤自由な立面（ファサード）をまとめた。

1928年からのコルビュジエのテーマは、幾何学的な秩序（ピュリズム）から人間と自然との調和に移りつつあり、それはパリ郊外ポアシーに竣工した「サヴォア邸」で実現した。併せてサヴォア邸は近代建築の5原則をすべて体現した作品といわれている。



サヴォア邸の模型（裏面から撮影しているため、ピロティが見えにくい）

ヴァイセンホフ・シードルンクの住宅、サヴォア邸に加えて当館の国立西洋博物館を含む7か国17資産で構成されるコルビュジエの建築作品については、2016年7月に世界遺産に登録されたのは記憶に新しい。

その後も、コルビュジエは、絵画や家具の設計も手がけており、「絵画と建築は、すべて幾何学的な規則に基づいて構成されている」と述べている。

今回の展示は、コルビュジエの1930年頃（43歳）までの絵画を主とした作品で、1965年77歳で逝去されるまでのほぼ半生に当たるもので、その後の半生も測り知れない功績を残している。

混沌とする現代において、このような時代をリードする明快な建築思想と行動を備えたリーダーが求められていると改めて感じたひと時でした。

5月19日まで開催されていますので、お近くに行かれてお時間のある方は、是非、ご覧ください。



上野恩賜公園満開の枝垂桜（撮影日 31.03.24）

Ⅲ 寄稿 神戸秘話第20回 『ラジオ放送復活の立役者 柴田邦江さん』 会長 瀬戸本 淳

私は月曜から金曜まで毎朝、ABCラジオ「おはようパーソナリティ道上洋三です」を聴いている。

阪神タイガースの試合結果も大いに気になるところだが、身支度をしながらさまざまな情報を知ることができるのがとても楽しい。ちなみにタイガースのオーナー坂井信也さん（阪神電気鉄道代表取締役社長）は神戸高校（18回生）、神戸大学の卒業生である。

道上さんは1977年から41年間パーソナリティを努めているが、その前は1971年スタートの「おはようパーソナリティ中村鋭一です」だった。その中村さんが、自身のパーソナリティより前の1968年、柴田邦江アナウンサーに「最近アメリカで人気のモーニングDJをやらないか」と声をかけ、ABCの初代パーソナリティがここに誕生した。「柴田邦江のおはようパートナー」である。

平日の早朝に放送された生ワイド番組で、それから8年間大いに人気を博した。中でも特筆すべきは「市場便り」で、大阪中央卸売市場の入荷状況や、おすすめの鮮魚・青果を荷受の人々に電話で聞くなどして朝支度の主婦層へ新鮮な情報を提供、簡単な料理法なども紹介し、さわやかな朝の掛け合いも親近感あふれる名物として関西一円に伝わっていった。

このすばらしい番組の主演、柴田邦江さんの真のパートナー（ご主人）こそ、実は前回の神戸秘話に登場した米谷収さん（神戸一中52回生、神戸高校4回生）だ。邦江さんは1934年に生まれ、両親の仕事の関係で東京から関西へ。大阪府立大手前高校を経て京都大学仏文科に入学し、卒業後、標準語が喋れることもあって朝日放送の2回生として入社、深夜放送などに従事していた。一方の米谷さんは神戸銀行に入行、梅田支店では邦江さんの妹さんが隣に座っていた。1958年、扇千景さんと中村扇雀さん（現四代目坂本藤十郎・人間国宝）の婚約という大ニュースを邦江さんが取材することになったが、米谷さんが扇さんと高校の同期ということを知っていた妹さんを通じ、ぜひ事前に高校の頃の話をお聞かせしてほしいということになり、それがきっかけでお付き合いが始まったようだ。

二人は神戸大学経済学部の新庄博教授の仲人で挙式、後に2人の男の子に恵まれるが、「おはよう

パートナー」の放送開始後は隣の人に託児所へ連れて行ってもらうなど苦労を重ねた。しかしこの番組がきっかけとなり、2年後に東京の文化放送もモーニングDJを開始、日本のラジオ放送が復活したことを考えると、邦江さんはその立役者である。その間の大阪万博でもイーデスハンソンさん、宮城まり子さんと3人で国際広場を担当していた。

米谷さんのロンドン勤務の際、退社した邦江さんはロンドンで外国人に英語を教える教師の資格（日本人では当時2人目とか）を取得したが、1990年に体調が悪化。癌が直腸から始まり全身に転移してすでに手遅れで余命1ヶ月と診断され、55歳の若さで逝去。ご葬儀には当時参議院議員だった扇千景さんと中村鋭一さんの花輪、そして邦江さんが家で英語と数学を教えていた中高生・卒業生約200名に見送られた。

お二人は夫婦別性で働かれた先駆けである。死別後28年になるが彼女を超える女性が前に現れてこなかったため、米谷さんは現在も独身を貫いている。



柴田邦江さん（右）と、ご主人の米谷収さん（左）
米谷収さんが太陽神戸銀行ニューヨーク支店長として赴任する1982年12月に、羽田空港で仲良く撮った貴重な写真の1枚

柴田 邦江（しばた くによ）

1934年生まれ。大阪府立大手前高校、京都大学仏文科卒業。朝日放送アナウンサー2回生として入社。米谷収さんと結婚後、1968年から日本初のABCラジオのパーソナリティとして「柴田邦江のおはようパートナー」を8年間努める。米谷さんがロンドン転勤時に、ロンドンで外国人に英語を教える教師の資格（日本では2人目）を取得して、帰国後、家で子供達に英語と数学を教えるようになる。1990年に余命1ヶ月と診断され、55歳の若さで亡くなった。

訃報 会報401号から神戸秘話でお伝えしてきました米谷 収様が去る平成31年3月24日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。

IV 見学レポート

ぶらりまち歩き『西国街道と兵庫津』

○ぶらりまち歩き企画

1 1月に開催した講演会「兵庫津の歴史を語る」で、兵庫津は大輪田泊としての整備に始まり、瀬戸内の会場交通の要として発展。そして江戸期における北前船の隆盛とともに、多くの海運の豪商を輩出し大いに栄えてきたことを知りました。

その一方で、都と九州・西国を結ぶ「西国街道（古代名は山陽道）」が整備され、沿道の賑わいとともに商店の進出が興り、元町商店街が形成されてきました



雲井通6丁目にある西国街道の案内板。上部の赤い線が本街道で、「現在地」とした部分が案内板の位置を示す。

この西国街道は、都（起点は羅生門跡）から西下し、芦屋打出で本街道（主として西国大名の参勤交代用）と濱街道（生活道路）に分かれる。

本街道は現在の雲井通6丁目（JR三宮駅東周辺）に入り、生田筋で浜街道と合流して大丸前・三宮神社前から現元町商店街を通過する。

そして現JR神戸駅北の新開地詰め付近から南に方向を変え、兵庫津へと進入する。その中心地「札場の辻」から直角に北へと転じ、現JR兵庫駅・戎神社（西の惣門）へと向かう。

この極端な進路変更は、西国街道が物流の拠点である兵庫津への導線の役割を果たしていることを示している。

先の講演会では、主として海運による兵庫津のまちの成り立ちに着目して講演をお聴きしました。今回のまち歩きでは、陸路の大動脈「西国街道」が神戸村、兵庫津の発展に導いた足跡を訪ね、神戸の成り立ちを検分してみようと企画し、有志により神戸を“ぶらりまち歩き”して見聞を広めようとしたもので、その概要を報告します。

なお、まち歩きに当たっては、前回講演をいただいた歴史ソムリエ「高松良和氏」に案内をお願いしました。

また、“ぶらりまち歩き”レポートは街角探訪シリーズの一環で岡澄彦氏の名調子により、3回程度に分けてお届けします。

1 訪問する史跡等

- ① 三宮神社 西国街道と神戸事件
- ② 元町商店街 元町商店街の成立経緯、
- ③ 湊川神社 1868年（明治元年）3月兵庫裁判所による楠社創建建白
- ④ 新開地 湊川と西国街道（西国街道ビル）
- ⑤ 湊口惣門 湊八幡神社惣門跡碑
- ⑥ 鎮守稻荷神社 平経俊公五輪塔、高田屋嘉兵衛寄進の石灯籠
- ⑦ 七宮神社 清盛「経ヶ島」築造の伝承、嘉兵衛の巨船模型奉納、
- ⑧ 入江福祉センター 元入江小学校跡（東山魁夷、中内功、川西英氏等の資料）
- ⑨ 高田屋嘉兵衛本店跡
- ⑩ 竹尾稻荷神社 高田屋嘉兵衛顕彰碑
- ⑪ 松尾稻荷神社 日本最古のビリケン
- ⑫ 横溝正史生誕地の碑

2 見学日 平成31年3月8日（金）

IV ぶらりまち歩き（1）『三宮神社』

㈱岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏



三宮神社での高松氏による神戸事件などの解説

ぶらりまち歩きのスタートは三宮神社。

小生が中学生の頃、大丸前で「ここは神戸事件のあった場所やで。」という、級友「あの暴徒が暴れて神戸新聞の記者を殺したり、路上の車燃やしたりした事件かいな。」岡「そら、神戸まつり事件や。時代が全然違うわ。」今やその事件さえも忘れ去られつつあるが。

神戸事件・・・三宮神社とは常にセットで後世に語り継がれる、幕末ならではの混乱を象徴した事件である。

慶応4年1月11日、備前藩の隊列が神戸三宮神社付近に差しかけた時、フランス人水兵2人が行列を横切った。これは日本側から見ると非常

に無礼な行為で、これを見た砲兵隊長・滝善三郎正信（32歳）が制止に入った。

しかし、言葉が通じず、強引に隊列を横切る水兵に対し、滝が槍で突きかかり軽傷を負わせてしまった。これに対していったん民家に退いた水兵数人が銃を取り出し、それを見た滝が「鉄砲」と叫んだのを「発砲命令」と受け取った藩兵が発砲、銃撃戦に発展した。この西国街道沿いにおける小競り合いが、隣接する居留地予定地を実況検分していた欧米諸国公使たちに銃口を向け、一斉射撃を加えることまで発展する。



神社に奉納された神戸事件で使用されたものと同型の大砲

自らも現場に居合わせたイギリス公使ハリー・パークスは激怒し、折しも兵庫開港を祝って集結していた艦船に緊急事態を通達、アメリカ海兵隊、イギリスの警備隊、フランスの水兵が備前藩兵を居留地外に追撃し、生田川の河原で撃ち合いとなった。備前側では、家老日置が藩兵隊に射撃中止・撤退を命令、お互いに死傷者はでていない。諸外国側の要求を受け入れた備前藩は、列強外交官列席のもとで滝を切腹させることで、一応の決着を見た。場合によっては薩英戦争同様の事態に進展する可能性もあり、さらに神戸が理不尽な植民地支配下に置かれる事態も起こり得た。滝の犠牲によって危機回避がなされたことは神戸はおろか日本史の流れにおいても重大な出来事であった。

同年には堺事件も起きており切腹を外国人に印象付けた。余談ながら滝の切腹は外国人を震撼させたが、その様子を示した図は「カネテツデリカフーズ所有」となっている。元々は兵庫区に位置したことから、永福寺が無くなる時に同社が買い受けたのか・・・滝の顕彰碑が同じ兵庫能福寺にあることから「西国街道ゆかりの人物」である。

後述の亀井堂にもみられる、ハイカラと進取の気概は、往年の三宮神社付近見取り図をご覧いただくと一目瞭然で、なんとコーヒー店の多いことか。



下：日本最古のコーヒー店（元町3丁目・放香堂）

上：昭和初期の三宮神社境内の復元図、コーヒー店が軒を連ねる。

さて、三宮神社から、次は、元町の歴史とお店の展開をお聴きするため亀井堂さんへ。

6丁目の亀井堂さんに到着するまでの間、元町の歴史を物語る開業以来100年を経過する商店を見学しつつ、おのぼりさんよろしくぶらり歩を進めることとなりました。

神戸元町商店街連合会編「神戸の良さが元町に」を参照して開業以来100年を超える店舗を紹介します。

100年超店舗（平成26年当時）

1 浜	文具	サワタニ	1875
3 浜	ニューミヤムラ	1912	
3 山	播新	1881	
3 山	河野カバン店	1884	
3 山	放香堂	1874	
3 浜	本高砂屋	1877	
3 浜	神戸風月堂	1897	
4 浜	柴田音吉洋服店	1883	
4 浜	赤壁商店	1868	
4 山	浪花屋漆器店	1913	
5 山	宮北洋服店	1914	
5 山	横山慶文堂	1897	
5 山	多り卯商店	1884	
5 浜	弥生美容院	1900	
5 浜	元町長崎屋本店	1902	
6 浜	平村写真館	1870	
6 浜	亀井堂総本店	1873	
6 山	キリンヤ洋品店	1910	
6 浜	ミヤコ商店	1913	

（注）1 浜とは1丁目の浜側を、3 山とは3丁目山側のことをいう。

老舗菓子店・亀井堂さんのお話は次号で報告します。

V 花だより (その2)
六甲山の早春賦：六甲高山植物園
(神戸市灘区六甲山町北六甲)

フラワーセンターのチューリップが不発となり、六甲高山植物園のザゼンソウの開花報道があったのでそちらも訪れることにしました。

さすがに1000メートル近い高度となると、寒の戻りでコートを着ても寒さが堪えます。



未だ冬景色の植物園にも春が着実に

西入口直ぐの湿地帯ではミズバショウがかろうじて“白い花”を見せていましたが、4月6日からミズバショウまつりが開催されるようですので見頃はそこまでお待ちを。

“白い花”は、^{ぶつせんぼう}仏炎苞という葉の変形したものです。その苞の中にある円柱状の部分が、花が多数集まった花序(かじょ)になります。花の形状はザゼンソウとも通ずるものがあります。



シクラメン・コウム



カタクリ (3月下旬から4月中旬が開花予定)
30年4月号で丹波市の群生地をお届けしました。

園内を散策しながら、六甲山では早春とも言えるこの時期に開花するヘルボルス・チベタヌス(クリスマスローズ系)、シクラメン・コウムなどを鑑賞し、お目当てのザゼンソウの育成地へ。

「座禅草」と漢字で書き、僧侶が座禅を組む様子になぞらえている。覆っている赤紫の部分が葉で、中の丸い部分が花軸となる。

英語では「Skunk Cabbage」で、スカンクのように悪臭を放つようで、(気が付かなかったが)これは虫を呼び寄せて受粉をさせようとしているとのこと。

兵庫県内では香住町村岡のハチ北ザゼンソウ群生地があり、兵庫県指定重要文化財となっています。



VI お知らせ

◎会員の異動

平成31年4月1日付

兵庫県住宅供給公社
新 理事長 福本 豊
前 理事長 小南 正雄 (当会副会長)

◎特別会員の異動：4月1日付

(3月27日までの届け出分、敬称略)

≪兵庫県県土整備部関係≫

まちづくり部長 奥原 崇
→ 国土交通省大臣官房地方課課長へ
← 出野上 聡 (県土整備部住宅建築局長)

まちづくり局長 飯塚 功一
→ 丹波県民局長へ
← 佐藤 将年 (国土交通省土地・建設産業局
不動産市場整備課不動産投資市場整備室長)

住宅建築局長 出野上 聡
→ まちづくり部長へ
← 西谷 一盛 (企画県民部参事 (周辺整備担当))

県土企画局総務課長 前田 正志
→ 県土整備部参事 (園芸・公園協会専務理事) へ
← 釜江 義明 (企画県民部企画財政局総務課参事)

まちづくり局都市政策課長 柏樹 容子
→ 企画県民部参事 (整備担当) へ
← 吉田 安弘 (都市政策課計画調整参事)
まちづくり局都市政策課計画調整参事 吉田 安弘
→ 都市政策課長へ

← 林 倫子 (豊岡土木事務所 まちづくり参事)
まちづくり局市街地整備課長 福澤 静司
→ 住宅建築局設備課長へ
← 福本 慶浩 (住宅建築局公営住宅課長)
まちづくり局公園緑地課長 宮崎 貴久
→ 広域防災センター次長兼防災公園管理部長へ
← 黒田 正勝 (丹波土木事務所まちづくり参事)

住宅建築局公営住宅課長 福本 慶浩
→ まちづくり局市街地整備課長へ
← 松浦 純 (川西市都市政策部長)
住宅建築局設備課長 古川 詞朗 退職
← 福澤 静司 (まちづくり局市街地整備課長)

但馬県民局豊岡土木事務所
まちづくり参事 林 倫子
→ まちづくり局都市政策課計画調整参事へ
← 藤本 成人 (住宅建築局建築指導課副課長)

丹波県民局丹波土木事務所
まちづくり参事 黒田 正勝
→ まちづくり局公園緑地課長へ
← 木本 和彦 (まちづくり局都市計画課副課長)

≪兵庫県農林水産部関係≫

環境部長 秋山 和裕 退職
← 田中 基康 (中播磨県民センター長)

≪兵庫県関係団体関係≫

兵庫県まちづくり技術センター
理事長 安倍 茂 退職
← 理事長 糟谷 昌俊
(兵庫県園芸・公園協会 理事長)
常務理事 坪田 勝幸 退職
← 安川 徳 (兵庫県道路公社技術参事)

兵庫県園芸・公園協会

理事長 糟谷 昌俊
(まちづくり技術センター理事長へ)
← 石井 孝一 (兵庫県公営企業管理者)
理事・国営明石海峡公園管理センター長
松下 剛 退職
← 井上 尊詩 (広域防災センター次長)

兵庫県住宅供給公社

住宅整備部部長 菅 雄二
→ 企画県民部新庁舎整備室新庁舎整備課長へ
← 中野 啓介 (出納局審査・指導課副課長)

≪神戸市異動関係≫

1 住宅都市局の組織改編の主なもの

- (1) 住宅都市局を建築住宅局に改編
- (2) 建築住宅局に副局長 (2人) を設置
- (3) 住宅部及び建築技術部の部制を廃止
(建築指導部は従前どおり)

2 会員の異動

住宅都市局長 岩橋 哲也 退職
建築住宅局長 三木 太志 (住宅担当局長)

建築住宅局 副局長 根岸 芳之
(住宅都市局建築指導部長)

住宅都市局住宅部住宅政策課長 上田 真己
→ 都市局担当部長 (再整備担当) へ
建築住宅局住宅政策課企画担当課長 光平 正弘
(経済観光局中央卸売市場運営本部再整備担当課長)

住宅都市局建築指導部部長 根岸 芳之
→ 建築住宅局 副局長へ
建築住宅局建築指導部 部長 金本 忠義
(住宅都市局建築指導部空家空地指導担当部長)
建築住宅局建築指導部空家空地指導担当部長
松本 悟司 (住宅都市局住宅部住宅整備担当部長)
建築住宅局建築指導部建築安全担当部長
山田 章子 (住宅都市局建築指導部建築安全課長)
建築住宅局建築指導部安全対策課長

小川 直樹
住宅都市局建築技術部 部長 井垣 昭人 退職
← 部制廃止

建築住宅局設備担当部長 高木 泰幸
建築住宅局建築担当部長 奥村 由和
建築住宅局技術管理課長 山根 正利
建築住宅局設備課長 酒井 真
 (住宅都市局住宅部住宅建設課設備担当課長)
 住宅都市局建築技術部設備課長 政井 栄久
 建設局担当部長 (西神施設担当) へ
 ※ 太字は新職名

《姫路市異動関係》

都市局長 隅田 絹夫 退職
 ← 三輪 徹 (まちづくり推進部長)
 都市局まちづくり推進部長 三輪 徹
 → 都市局長へ
 ← 瀧野 幹子 (まちづくり推進部参事)
 都市局まちづくり推進部まちづくり指導課長
 塩崎 哲也 退職
 ← 松浦 正宗 (まちづくり指導課課長補佐)

《加古川市異動関係》

建設部参事 (技術担当) 兼営繕課長事務取扱
 糀谷 和也 (営繕課長より)

《宝塚市異動関係》

都市整備部建築住宅室長 福田 芳巳
 → 都市整備部都市整備室長へ
 ← 濱田 一二三 (都市整備室長)

《川西市異動関係》

都市政策部長 松浦 純
 → 兵庫県県土整備部住宅建築局公営住宅課長へ
 ← 松井 雅伸 (兵庫県県土整備部住宅建築局
 公営住宅課副課長)

事務局 : 谷 純夫、石井滝美子
 電話 : 078-996-2851
 FAX : 078-996-2852
 Email : archit-k@axel.ocn.ne.jp

V 花だより (その1) 兵庫県立フラワーセンター <ラン室>



◎役員会開催結果

3月20日(水)に開催した役員会(兼理事会)において、平成30年度補正予算と平成31年度(2019年度)事業計画及び予算が承認されました。

その詳細は総会において報告します。

◎行事予定

1 役員会

日時 平成30年4月18日(木)
 13時30分から16時00分
 会場 神戸市教育会館203号
 議題 平成30年度決算について
 役員の選任等定時総会上程議案

2 総会及び会員交流会

日時 平成31年(2019年)
 5月22日(水)
 17時00分から20時00分
 会場 神戸三宮東急REIホテル
 議題 平成30年度事業報告外

ご案内中です。ご参加よろしくお願ひします。

3 6月月例会(第466回月例会)

日程 平成30年6月13日(木)
 テーマ 『伊能忠敬・兵庫の足跡とその生涯(仮題)』

講師 小嶋 明氏

・多可町地域共生社会づくり運営協議会会長
 ・伊能忠敬・多可の道プロジェクト共同代表

概要 伊能忠敬没後200年、兵庫県内の縁の地域が集い「伊能忠敬・五国の足跡フォーラム」が開催され、その偉業の検証が報告されました。講師は多可町の代表として、またフォーラムの中心的役割を果たしてこられました。月例会では講師の活動結果を踏まえ伊能氏の偉業とその生き様を講演いただきます。

4月下旬にご案内します。

◎事務局だより

○久しぶりに相撲の話題です。兵庫県出身の力士貴景勝関が大関となりました。調べると地元出身の大関は、増位山、汐の海、朝潮(横綱)、二代目増位山(昭和55~56年在位)以来となります。(出生、本籍ベース)朝潮の兵庫は意外でした。

しっかりと上を目指して貰いたいですね。あと若手では震災の運命を背負った照強関。新元号下での兵庫県出身力士の活躍を大いに期待します。

○4月号は会員異動の報告ですが、神戸市では大きな機構改革がありました。住宅都市局改め建築住宅局へ、そして部制の廃止で課長権限を強化と聞いています。責任とやりがいが増します。

また、多くの会員が新たな門出となります。この間のご支援ご協力ありがとうございました。

そして新たな会員をお迎えします。前任者同様によりしくお願いします。

広報コーナー：総合資格学院



<p>2018~2014年度 1級建築士学科・設計製図試験</p> <p>全国 ストレート合格者占有率</p> <p>全国ストレート合格者合計8,080名中/ 総合資格学院受講生5,004名</p> <p>全国ストレート合格者の 6割以上は 総合資格学院の受講生! (2018年12月30日現在)</p> <p>61.9%</p>	<p>2018~2014年度 1級建築士設計製図試験</p> <p>全国 合格者占有率</p> <p>全国合格者合計18,464名中/ 総合資格学院受講生10,427名</p> <p>全国合格者の およそ6割は 総合資格学院の受講生! (2018年12月30日現在)</p> <p>56.5%</p>	<p>2018~2014年度 1級建築士学科試験</p> <p>全国 合格者占有率</p> <p>全国合格者合計23,360名中/ 総合資格学院受講生11,804名</p> <p>全国合格者の 2人に1人以上は 総合資格学院の受講生! (2018年12月30日現在)</p> <p>50.5%</p>
<p>2018年度 2級建築士設計製図試験</p> <p>総合資格学院 当年度受講生 合格者数 2,179名</p> <p>資格取得スクールとしてNo.1の合格実績を達成しました! ※全国合格者は、1級建築士学科試験受験センター受験者より約2倍です。 ※全国試験http://www.kankyo.co.jp/shiken/2018/2018_2nd/ 受験者約10,000名中、総合資格学院の合格者2,179名、2級 学科合格者として、その約2割を総合資格学院が占めています。</p>		<p>全国合格率54.9%に対して 総合資格学院 基準達成当年度受講生合格率 87.1% 達成</p> <p>2級出題・3割受験率出 合格試験2ランク1-A達成当年度受講生703名中/合格者612名 (2018年12月30日現在)</p>

1級・2級 建築士 **願書** 取り寄せサービス

願書代 **0円**

毎年ご好評をいただいている、**無料の願書取り寄せサービス**。ご友人の分や、会社の分のお取りまとめ等も承ります。当学院が願書をお渡しするので、**入手し忘れ心配無用**。

無料 **講座説明会・体験学習会** **同時実施中!**
実績が証明した当学院講座の品質をぜひ体験してください

1級・2級 建築士	構造設計/設備設計 1級建築士	建築設備士
1級・2級 管工事施工管理技士	1級・2級 建築施工管理技士	1級・2級 土木施工管理技士
宅地建物取引士	賃貸不動産経営管理士	インテリアコーディネーター

お申込みご相談はお電話、またはメールにて!!

神戸校 神戸市中央区雲井通4-2-2 マークラ神戸ビル 3F

tel. **078-241-1711**

mail kohbe@shikaku.co.jp

QRコードでメールアドレス簡単入力

総合資格学院

スクリーンショット <http://www.shikaku.co.jp> 総合資格 検索 <http://www.sogoshikaku.co.jp> Facebook →「総合資格」で検索!

【法定講習】一級・二級・木造建築士定期講習/監理技術者講習/管理建築士講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習/第一種電気工事士定期講習

おかげさまで「1級建築士も2級建築士も合格実績日本一」を達成しました。これからも有資格者の育成を通じて、業界の発展に貢献してまいります。
総合資格学院 学院長 **岸陸司**

フェニックス共済



～兵庫県が提供する「住まい再建のしくみ」～
兵庫県住宅再建共済制度

- 1 年5,000円で最大600万円
- 2 簡単な加入!迅速な給付!
- 3 他の保険・共済と関係なく加入・給付

県内に住宅をお持ちの方の
住宅再建共済制度
年額5,000円で
最大600万円の給付

分譲マンションにお住まいの方も加入可
さらにワンコインで追加加入できます!
プラス
住宅再建共済制度に上乗せ加入でもっと安心!
※一度限りの加入に限り、複数加入も出来ます。

住宅再建共済制度(一部損壊特約)
年額500円で補修等に25万円の給付

住宅の被害想定	
全壊	年額5,000円で最大600万円
大規模半壊	年額5,000円で最大600万円
半壊	年額500円で補修等に25万円
一部損壊	年額500円で補修等に25万円

(損害割合10%以上20%未満)

県内にお住まいの方の
家財再建共済制度
年額1,500円で
最大50万円の給付

借家(賃貸)に
お住まいの方も加入可
※一部損壊特約のみ加入は出来ません。

フェニックス共済(兵庫県住宅再建共済制度)は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、兵庫県が創設して運営している制度です。
地震、豪雨など、自然災害で住宅が損壊したとき、再建を支援します。

そうだ フェニックスがあった

家財再建共済制度

加入者	県内にお住まいの方
負担金	年額1,500円
対象	県内に存在する住宅にある家財
対象被害	地震、台風、水害等からゆる自然災害
共済期間	毎年4月1日から1年間
給付金	給付対象 全壊で購入・補修 50万円 大規模半壊で購入・補修 35万円 半壊で購入・補修 25万円 床上浸水で購入・補修 15万円

※家財再建共済制度は、被災者の被害が、被災者の所有する家財に限定して給付されます。
※被災者に対する給付金については、その被害者が加入していただきます。300万円を超す場合は、別途申請が必要です。
①給付対象となる被害は、被災者の所有する家財に限定して給付されます。
②被災者に対する給付金については、その被害者が加入していただきます。300万円を超す場合は、別途申請が必要です。

住宅再建共済制度

加入者	県内に住宅をお持ちの方
負担金	年額5,000円
対象	県内に存在する住宅
対象被害	地震、台風、水害等からゆる自然災害
共済期間	毎年4月1日から1年間
給付金	給付対象 半壊以上で建築・購入・増築 全壊で建築 600万円 200万円 100万円 50万円 10万円 半壊以上で建築・購入・増築 入居した住宅に 入居した住宅のみ

※住宅再建共済制度は、被災者の被害が、被災者の所有する住宅に限定して給付されます。
※被災者に対する給付金については、その被害者が加入していただきます。300万円を超す場合は、別途申請が必要です。
①給付対象となる被害は、被災者の所有する住宅に限定して給付されます。
②被災者に対する給付金については、その被害者が加入していただきます。300万円を超す場合は、別途申請が必要です。

一部損壊特約

加入者	住宅再建共済制度加入者のうち希望される方
負担金	年額500円(住宅再建共済負担金に追加)
対象被害	地震、台風、水害等からゆる自然災害
共済期間	毎年4月1日から1年間
給付金	給付対象 一部損壊(損害割合10%以上20%未満)で建築・購入・補修した場合 25万円 一部損壊(損害割合10%以上20%未満)で建築・購入・補修などをせず、賃貸住宅に入居した場合など 10万円 (損害割合10%以上20%未満)

※一部損壊特約は、被災者の被害が、被災者の所有する住宅に限定して給付されます。
※被災者に対する給付金については、その被害者が加入していただきます。300万円を超す場合は、別途申請が必要です。

広報コーナー：住宅再建共済制度

『兵庫県住宅再建共済制度』の詳細は次からご覧いただけます。
兵庫県住宅再建共済基金HP → <http://phoenix.jutakusaiken.jp/>

フェニックス共済は兵庫県が条例に基づいて実施する「安全」・「安心」の制度です。

フェニックス共済の概要

下記宛てにお話しください。
この用紙に記入しFAXをお願いします。

(ご希望に即)
 加入したいので詳しく説明に来てほしい ()月()日()曜日()時頃
 申込済みパンフレットを送ってほしい ()部

《お名前》 フリガナ
 《ご住所》〒
 TEL:
 FAX:

兵庫県企業局長前防炎企画推進課
 ☎078-362-9400(平日9:00～17:00)
 FAK078-362-9405 フェニックス共済 課長

